

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザイン I		
実務家教員授業			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	1年次		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	就職活動の準備として、自己分析・自己PR作成に取り組む		
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	自己分析を完了させ、自己PRを作成する		
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介			
授業計画	1	就職の心構え	31
	2	自己分析	32
	3	自己分析	33
	4	自己分析	34
	5	自己分析	35
	6	自己分析	36
	7	自己PR作成	37
	8	自己PR作成	38
	9	自己PR作成	39
	10	自己PR作成	40
	11	自己PR作成	41
	12	自己PR作成	42
	13	筆記試験対策	43
	14	SPI対策	44
	15	CAB対策	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	IT キャリアデザイン II	
実務家教員授業		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	1 年次	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	90 単位時間	
授業コマ数	45 コマ	
授業概要	就職活動に必要な準備を一通り完了させ、適性試験や面接試験のトレーニングをおこなう	
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	就職活動に必要な準備を一通り完了させ、模擬面接でアピールできるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
実務家教員の紹介		
授業計画	1 履歴書作成	31 電子メールでの連絡方法
	2 履歴書作成	32 電子メールでの連絡演習
	3 履歴書作成	33 電話でのアポイントメント
	4 業界研究	34 電話でのアポイントメント演習
	5 業界研究	35 就職活動における自己管理
	6 業界研究	36 就職活動システムの利用方法
	7 職種研究	37 SPI 対策
	8 職種研究	38 SPI 対策
	9 職種研究	39 SPI 対策
	10 企業研究シート作成	40 CAB 対策
	11 企業研究シート作成	41 CAB 対策
	12 企業研究シート作成	42 CAB 対策
	13 志望動機作成	43 面接トレーニング
	14 志望動機作成	44 面接トレーニング
	15 志望動機作成	45 効果測定
	16 入退室方法の確認	46
	17 面接トレーニング	47
	18 面接トレーニング	48
	19 面接トレーニング	49
	20 面接トレーニング	50
	21 面接トレーニング	51
	22 面接試験における質問研究	52
	23 面接試験における質問研究	53
	24 面接試験における質問研究	54
	25 面接トレーニング	55
	26 面接トレーニング	56
	27 面接トレーニング	57
	28 エントリーシート作成	58
	29 エントリーシート作成	59
	30 エントリーシート作成	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(模擬面接)の得点で評価	
備考		

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	一般教養 I		
実務家教員授業			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	1 年次		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	漢字検定に合格する為の学習をおこなう		
授業の進め方	問題演習による試験対策		
達成目標	漢字検定の合格		
教科書	検定協会発刊の対策問題集		
実務家教員の紹介			
授業計画	1	漢字 基礎演習	31
	2	漢字 基礎演習	32
	3	漢字 基礎演習	33
	4	漢字 基礎演習	34
	5	漢字 基礎演習	35
	6	漢字 項目別問題演習	36
	7	漢字 項目別問題演習	37
	8	漢字 項目別問題演習	38
	9	漢字 項目別問題演習	39
	10	漢字 項目別問題演習	40
	11	漢字 試験直前問題演習	41
	12	漢字 試験直前問題演習	42
	13	漢字 試験直前問題演習	43
	14	漢字 試験直前問題演習	44
	15	漢字 試験直前問題演習	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IT基礎知識 I			
実務家教員授業				
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1 年次			
科目区分	必修			
授業方法	講義			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	IT基礎知識（テクノロジー分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と演習			
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める			
教科書	オリジナルテキスト			
実務家教員の紹介				
授業計画	1	ハードウェア I	31	セキュリティ、システム構成要素
	2	基礎理論	32	システム構成要素
	3	問題演習	33	問題演習
	4	基礎理論	34	システム構成要素
	5	基礎理論	35	マルチメディア
	6	問題演習	36	問題演習
	7	ハードウェア II	37	システム開発
	8	ハードウェア II	38	システム開発
	9	問題演習	39	問題演習
	10	ハードウェア II	40	マネジメント
	11	ソフトウェア	41	マネジメント
	12	問題演習	42	問題演習
	13	ソフトウェア	43	ストラテジ
	14	ソフトウェア	44	ストラテジ
	15	問題演習	45	問題演習
	16	ソフトウェア、アルゴリズム	46	
	17	アルゴリズム	47	
	18	問題演習	48	
	19	アルゴリズム	49	
	20	データベース	50	
	21	問題演習	51	
	22	データベース	52	
	23	データベース	53	
	24	問題演習	54	
	25	ネットワーク	55	
	26	ネットワーク	56	
	27	問題演習	57	
	28	ネットワーク、セキュリティ	58	
	29	セキュリティ	59	
	30	問題演習	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル		内容		
授業科目	IT基礎知識 II			
実務家教員授業				
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1 年次			
科目区分	必修			
授業方法	演習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	IT基礎知識（テクノロジー分野・マネジメント分野・ストラテジ分野）について学ぶ			
授業の進め方	問題演習による試験対策			
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め、基本情報技術者試験の午前試験問題に正答できる			
教科書	オリジナルテキスト			
実務家教員の紹介				
授業計画	1	項目別問題演習	31	試験直前問題演習
	2	項目別問題演習	32	試験直前問題演習
	3	項目別問題演習	33	試験直前問題演習
	4	項目別問題演習	34	試験直前問題演習
	5	項目別問題演習	35	試験直前問題演習
	6	項目別問題演習	36	試験直前問題演習
	7	項目別問題演習	37	試験直前問題演習
	8	項目別問題演習	38	試験直前問題演習
	9	項目別問題演習	39	試験直前問題演習
	10	項目別問題演習	40	試験直前問題演習
	11	項目別問題演習	41	試験直前問題演習
	12	項目別問題演習	42	試験直前問題演習
	13	項目別問題演習	43	試験直前問題演習
	14	項目別問題演習	44	試験直前問題演習
	15	項目別問題演習	45	試験直前問題演習
	16	総合問題演習	46	
	17	総合問題演習	47	
	18	総合問題演習	48	
	19	総合問題演習	49	
	20	総合問題演習	50	
	21	総合問題演習	51	
	22	総合問題演習	52	
	23	総合問題演習	53	
	24	総合問題演習	54	
	25	総合問題演習	55	
	26	総合問題演習	56	
	27	総合問題演習	57	
	28	総合問題演習	58	
	29	総合問題演習	59	
	30	総合問題演習	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	コンピュータリテラシー			
実務家教員授業				
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	30単位時間			
授業コマ数	15コマ			
授業概要	Officeソフト (Word・Excel・PowerPoint) の操作について学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と実習			
達成目標	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方法を身につける			
教科書	情報利活用基本演習			
実務家教員の紹介				
授業計画	1	コンピューターの基本操作	31	
	2	一般的なビジネス文書の作成	32	
	3	シンプルなレポートや報告書の作成	33	
	4	表・画像・図形を使った文書の作成	34	
	5	効果測定	35	
	6	プレゼンテーションの企画	36	
	7	わかりやすいストーリー構成	37	
	8	センスアップするレイアウトデザイン	38	
	9	イメージを伝えるイラスト・写真活用	39	
	10	効果測定	40	
	11	表作成の基本操作	41	
	12	見やすく使いやすい表にする編集操作	42	
	13	数式・関数を活用した集計表の作成	43	
	14	グラフの基本	44	
	15	効果測定	45	
	16		46	
	17		47	
	18		48	
	19		49	
	20		50	
	21		51	
	22		52	
	23		53	
	24		54	
	25		55	
	26		56	
	27		57	
	28		58	
	29		59	
	30		60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	HTML/CSS		
実務家教員授業	○		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	1年次		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	HTMLとCSSを使ったホームページの作成について学ぶ		
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習		
達成目標	HTMLとCSSを使用してWebページの作成ができる		
教科書	いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本		
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。		
授業計画	1	Webサイト作成準備	31
	2	HTMLの基本	32
	3	HTML文書の設計	33
	4	共通ページから個別ページの作成	34
	5	共通ページから個別ページの作成	35
	6	CSSの基本	36
	7	CSSの基本	37
	8	CSS 共通部分のデザイン	38
	9	CSS 共通部分のデザイン	39
	10	コンテンツのデザイン整形	40
	11	コンテンツのデザイン整形	41
	12	スマートフォンへの対応	42
	13	スマートフォンへの対応	43
	14	Webサイトの公開・機能追加	44
	15	効果測定	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	JavaScript		
実務家教員授業	○		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	1年次		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	JavaScriptを基礎から学びWebページを作成する		
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習		
達成目標	JavaScriptを使用した動的なWebページの作成ができる		
教科書	3ステップでしっかり学ぶJavaScript入門		
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。		
授業計画	1	JavaScriptの基礎知識	31
	2	プログラミングの基礎	32
	3	プログラミングの基礎	33
	4	変数と演算	34
	5	変数と演算	35
	6	条件分岐	36
	7	条件分岐	37
	8	繰り返し	38
	9	繰り返し	39
	10	ユーザ定義関数の作成	40
	11	オブジェクトの操作	41
	12	オブジェクトの操作	42
	13	オブジェクトの操作	43
	14	配列の基礎	44
	15	配列の操作	45
	16	効果測定	46
	17	Webブラウザのオブジェクト	47
	18	Webブラウザのオブジェクト	48
	19	Webブラウザのオブジェクト	49
	20	デジタル時計の作成	50
	21	イメージの操作	51
	22	ユーザ定義オブジェクト	52
	23	DOMの操作	53
	24	DOMの操作	54
	25	DOMの操作	55
	26	Ajax	56
	27	Ajax	57
	28	Ajax	58
	29	Ajax	59
	30	効果測定	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	データベース		
実務家教員授業	○		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	1年次		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装について学ぶ		
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習		
達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる		
教科書	スッキリわかる SQL入門		
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。		
授業計画	1	SQLの基礎	31
	2	基本文法と4大命令	32
	3	操作する行の絞り込み	33
	4	操作する行の絞り込み	34
	5	検索結果の加工	35
	6	式と関数	36
	7	集計とグループ化	37
	8	副問い合わせ	38
	9	複数テーブルの問い合わせ	39
	10	トランザクション	40
	11	テーブルの作成	41
	12	さまざまな支援機能	42
	13	テーブルの設計	43
	14	テーブルの設計	44
	15	効果測定	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	Python			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Pythonの基本文法とプログラムの実装について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	CUIベースのプログラムをPythonで実装できる			
教科書	新・明解 Python入門			
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。			
授業計画	1	Pythonの特徴	31	クラス
	2	画面への表示とキーボード入力	32	クラス
	3	制御・条件分岐	33	クラス変数とクラスメソッド
	4	制御・条件分岐	34	継承
	5	制御・条件分岐	35	継承
	6	プログラムの構成要素	36	例外処理
	7	制御・繰り返し	37	例外処理
	8	制御・繰り返し	38	ファイル処理の基礎
	9	制御・繰り返し	39	ファイル処理の基礎
	10	オブジェクトと型	40	バイナリファイル
	11	オブジェクトと型	41	総合実習
	12	文字列の基礎	42	総合実習
	13	文字列の操作	43	総合実習
	14	文字列の書式化	44	総合実習
	15	効果測定	45	効果測定
	16	リスト	46	
	17	リスト	47	
	18	リスト	48	
	19	リスト	49	
	20	タプル	50	
	21	辞書	51	
	22	集合	52	
	23	関数の基礎	53	
	24	関数の基礎	54	
	25	文書化文字列とアノテーション	55	
	26	名前空間とスコープ	56	
	27	高階関数とラムダ式	57	
	28	モジュール	58	
	29	パッケージ	59	
	30	効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	オブジェクト指向分析設計		
実務家教員授業	○		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	1 年次		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェクト指向分析・設計について学ぶ		
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習		
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサイクルに対応できる		
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLによるアプローチ		
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。		
授業計画	1	各種ツールの準備と実習	31
	2	システム分析の本質	32
	3	図解技法の応用	33
	4	実習	34
	5	実習	35
	6	システム分析・設計の手順	36
	7	UMLの基本	37
	8	UMLの基本	38
	9	システム分析の事例実習	39
	10	システム分析の事例実習	40
	11	システム分析の事例実習	41
	12	システム分析の事例実習	42
	13	システム分析の事例実習	43
	14	システム分析の事例実習	44
	15	効果測定	45
	16	システム分析の事例実習	46
	17	システム分析の事例実習	47
	18	システム分析の事例実習	48
	19	UMLを用いたシステム設計の基礎	49
	20	システム設計の事例実習	50
	21	システム設計の事例実習	51
	22	システム設計の事例実習	52
	23	総合実習	53
	24	総合実習	54
	25	総合実習	55
	26	総合実習	56
	27	総合実習	57
	28	総合実習	58
	29	総合実習	59
	30	効果測定	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	アジャイルソフトウェア開発	
実務家教員授業	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	1 年次	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	30単位時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	アジャイルの概要とアジャイルを適用したユースケース駆動設計について学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	アジャイル開発体制に適応できる	
教科書	アジャイル開発への道案内	
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。	
授業計画	1 アジャイル開発の現状と課題	31
	2 アジャイル開発の概要	32
	3 アジャイル開発の特徴	33
	4 アジャイル開発のプロセス	34
	5 アジャイル開発の効果とリスク	35
	6 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発	36
	7 アジャイル開発の事例	37
	8 実習	38
	9 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	39
	10 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	40
	11 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	41
	12 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	42
	13 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	43
	14 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	44
	15 効果測定	45
	16	46
	17	47
	18	48
	19	49
	20	50
	21	51
	22	52
	23	53
	24	54
	25	55
	26	56
	27	57
	28	58
	29	59
	30	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	Java			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1 年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	Javaの基本文法とオブジェクト指向プログラミングについて学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	オブジェクト指向プログラミングをベースとした各種プログラムをJavaで実装できる			
教科書	新・明解Java入門、Java8問題集			
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。			
授業計画	1	Javaの特徴	31	抽象クラス
	2	変数	32	抽象クラス
	3	制御構文・分岐、if文	33	インタフェース
	4	制御構文・分岐、if文	34	インタフェース
	5	制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子	35	実習
	6	制御構文・繰り返し do-while文	36	文字と文字列
	7	制御構文・繰り返し while文	37	文字と文字列
	8	制御構文・繰り返し for文	38	例外処理
	9	制御構文・繰り返し	39	例外処理
	10	基本型と演算	40	効果測定
	11	配列	41	総合実習 基礎
	12	配列	42	総合実習 基礎
	13	配列	43	総合実習 基本的なプログラムの構造
	14	実習	44	総合実習 コンピュータで扱うデータ表現
	15	効果測定	45	総合実習 変数/定数と型
	16	メソッド	46	総合実習 演算と演算子
	17	メソッド	47	総合実習 配列の宣言・生成
	18	メソッド	48	総合実習 配列の宣言・生成
	19	クラスの基本	49	総合実習 制御文
	20	クラスの基本	50	総合実習 制御文
	21	日付クラスの作成	51	総合実習 クラスとオブジェクト
	22	日付クラスの作成	52	総合実習 クラスとオブジェクト
	23	クラス変数とクラスメソッド	53	総合実習 クラスの関係
	24	クラス変数とクラスメソッド	54	総合実習 クラスの関係
	25	クラス変数とクラスメソッド	55	総合実習 クラスの継承
	26	パッケージ	56	総合実習 クラスの継承
	27	クラスの派生と多相性	57	総合実習 例外処理
	28	クラスの派生と多相性	58	総合実習 例外処理
	29	クラスの派生と多相性	59	総合実習
	30	効果測定	60	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	PHP			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1 年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	PHP基本文法とサーバサイドアプリケーションの設計と実装について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	サーバサイドアプリケーションをPHPで実装できる			
教科書	詳細！PHP 7 + MySQL 入門ノート			
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。			
授業計画	1	PHPの概要と準備	31	ファイルの読み込みと書き出し
	2	変数	32	ファイルの読み込みと書き出し
	3	演算子	33	phpMyAdminの使い方
	4	制御構造・分岐文	34	phpMyAdminの使い方
	5	制御構造・繰り返し文	35	MySQLの操作
	6	関数	36	MySQLの操作
	7	関数	37	MySQLの操作
	8	文字列操作	38	MySQLの操作
	9	文字列操作	39	総合実習
	10	文字列操作	40	総合実習
	11	配列	41	総合実習
	12	配列	42	総合実習
	13	配列	43	総合実習
	14	効果測定	44	総合実習
	15	オブジェクト指向プログラミング	45	効果測定
	16	オブジェクト指向プログラミング	46	
	17	オブジェクト指向プログラミング	47	
	18	オブジェクト指向プログラミング	48	
	19	フォーム処理の基本	49	
	20	フォーム処理の基本	50	
	21	フォーム処理の基本	51	
	22	各種フォームの使用	52	
	23	各種フォームの使用	53	
	24	各種フォームの使用	54	
	25	各種フォームの使用	55	
	26	セッションとクッキー	56	
	27	セッションとクッキー	57	
	28	セッションとクッキー	58	
	29	効果測定	59	
	30	ファイルの読み込みと書き出し	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	フロントエンドフレームワーク			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1 年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Vue.jsの基本文法とシングルページアプリケーションの作成について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	Vue.jsを使用してシングルページアプリケーションの作成ができる			
教科書	動かして学ぶ！Vue.js開発入門			
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。			
授業計画	1	Vue.jsの概要	31	アニメーションの表示
	2	Vue.jsのインストール	32	アニメーションの表示
	3	データの表示	33	実習
	4	属性の指定	34	Vue.jsでのToDoリスト
	5	実習	35	Vue.jsでのToDoリスト
	6	ユーザの入力	36	実習
	7	ユーザの入力	37	部品にまとめる：コンポーネント
	8	ユーザの入力	38	部品にまとめる：コンポーネント
	9	ユーザの入力	39	部品にまとめる：コンポーネント
	10	実習	40	部品にまとめる：コンポーネント
	11	ユーザの操作	41	実習
	12	ユーザの操作	42	JSONデータの表示
	13	ユーザの操作	43	JSONデータの表示
	14	実習	44	JSONデータの表示
	15	効果測定	45	効果測定
	16	条件と繰り返し	46	
	17	条件と繰り返し	47	
	18	条件と繰り返し	48	
	19	条件と繰り返し	49	
	20	実習	50	
	21	Google Chartsとの連動	51	
	22	データの変化の監視	52	
	23	データの変化の監視	53	
	24	実習	54	
	25	データの変化の監視	55	
	26	データの変化の監視	56	
	27	実習	57	
	28	Markdownエディタ	58	
	29	総合実習	59	
	30	効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	サーバサイドフレームワーク			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	1 年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	Laravelを使用したサーバサイドアプリケーションの作成について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	Laravelを使用してサーバサイドWebアプリケーションの作成ができる			
教科書	PHPフレームワークLaravel入門			
実務家教員の紹介	システムエンジニアとしての設計・開発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な指導・教育をおこなう。			
授業計画	1	Laravelの概要と準備	31	Restfulサービス
	2	ルーティングとコントローラ	32	Restfulサービス
	3	ルーティングとコントローラ	33	効果測定
	4	ルーティングとコントローラ	34	サーバサイドアプリ構築実習
	5	実習	35	サーバサイドアプリ構築実習
	6	ビューとテンプレート	36	サーバサイドアプリ構築実習
	7	ビューとテンプレート	37	サーバサイドアプリ構築実習
	8	ビューとテンプレート	38	サーバサイドアプリ構築実習
	9	ビューとテンプレート	39	サーバサイドアプリ構築実習
	10	実習	40	サーバサイドアプリ構築実習
	11	リクエスト・レスポンスの補完	41	サーバサイドアプリ構築実習
	12	リクエスト・レスポンスの補完	42	サーバサイドアプリ構築実習
	13	リクエスト・レスポンスの補完	43	サーバサイドアプリ構築実習
	14	リクエスト・レスポンスの補完	44	サーバサイドアプリ構築実習
	15	リクエスト・レスポンスの補完	45	効果測定
	16	効果測定	46	
	17	データベースの利用	47	
	18	データベースの利用	48	
	19	データベースの利用	49	
	20	データベースの利用	50	
	21	実習	51	
	22	Eloquent ORM	52	
	23	Eloquent ORM	53	
	24	Eloquent ORM	54	
	25	Eloquent ORM	55	
	26	Eloquent ORM	56	
	27	実習	57	
	28	Restfulサービス	58	
	29	Restfulサービス	59	
	30	Restfulサービス	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザインⅢ		
実務家教員授業			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	志望業界の時事について情報収集をおこない、就職活動に活かす		
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション		
達成目標	時事に対する興味関心を持ち、自身の考えを相手に伝える		
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介			
授業計画	1	IT業界時事テーマの決定 1	31
	2	情報収集	32
	3	情報収集	33
	4	ディスカッション	34
	5	ディスカッション	35
	6	まとめレポート作成	36
	7	SPI対策	37
	8	SPI対策	38
	9	CAB対策	39
	10	CAB対策	40
	11	IT業界時事テーマの決定 2	41
	12	情報収集	42
	13	情報収集	43
	14	ディスカッション	44
	15	ディスカッション	45
	16	まとめレポート作成	46
	17	SPI対策	47
	18	SPI対策	48
	19	CAB対策	49
	20	CAB対策	50
	21	IT業界時事テーマの決定 3	51
	22	情報収集	52
	23	情報収集	53
	24	ディスカッション	54
	25	ディスカッション	55
	26	まとめレポート作成	56
	27	SPI対策	57
	28	SPI対策	58
	29	CAB対策	59
	30	CAB対策	60
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	ITキャリアデザインⅣ		
実務家教員授業			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	60単位時間		
授業コマ数	30コマ		
授業概要	就職活動に必要な準備・対策をおこなう		
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	希望している企業からの早期内々定獲得		
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介			
授業計画	1	企業研究	31
	2	企業別志望動機作成	32
	3	面接試験における質問研究	33
	4	面接トレーニング	34
	5	SPI対策	35
	6	CAB対策	36
	7	企業研究	37
	8	企業別志望動機作成	38
	9	面接試験における質問研究	39
	10	面接トレーニング	40
	11	SPI対策	41
	12	CAB対策	42
	13	企業研究	43
	14	企業別志望動機作成	44
	15	面接試験における質問研究	45
	16	面接トレーニング	46
	17	SPI対策	47
	18	CAB対策	48
	19	企業研究	49
	20	企業別志望動機作成	50
	21	面接試験における質問研究	51
	22	面接トレーニング	52
	23	SPI対策	53
	24	CAB対策	54
	25	企業研究	55
	26	企業別志望動機作成	56
	27	面接試験における質問研究	57
	28	効果測定	58
	29	SPI対策	59
	30	CAB対策	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(模擬面接)の得点で評価		
備考			

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	ビジネスマナー I		
実務家教員授業			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース		
履修年次	2年次		
科目区分	必修		
授業方法	講義		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	社会人に必要なビジネスマナーについて学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	ビジネスマナーについて理解し状況別の電話応対ができる		
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介			
授業計画	1	学校と職場の違い	31
	2	職場のマナー	32
	3	仕事の進め方	33
	4	「ほう・れん・そう」とは	34
	5	挨拶の種類	35
	6	笑顔・お辞儀	36
	7	正しい敬語の使い方	37
	8	応対の基本	38
	9	電話応対のマナー	39
	10	電話の受け方	40
	11	電話のかけ方	41
	12	状況別の電話応対	42
	13	状況別の電話応対	43
	14	総合演習	44
	15	効果測定	45
	16		46
	17		47
	18		48
	19		49
	20		50
	21		51
	22		52
	23		53
	24		54
	25		55
	26		56
	27		57
	28		58
	29		59
	30		60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(電話応対)の得点で評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																																																																																																																									
授業科目	AI基礎プログラミング																																																																																																																									
実務家教員授業	○																																																																																																																									
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース																																																																																																																									
履修年次	2年次																																																																																																																									
科目区分	必修																																																																																																																									
授業方法	実習																																																																																																																									
授業時間	90単位時間																																																																																																																									
授業コマ数	45コマ																																																																																																																									
授業概要	Pythonによる最低限のライブラリで実装するAIシステムについて学ぶ																																																																																																																									
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習																																																																																																																									
達成目標	深層学習システムに必須な基本的な技術の実装に対応できる																																																																																																																									
教科書	PythonによるAIプログラミング入門																																																																																																																									
実務家教員の紹介	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。																																																																																																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>人工知能の概要</td></tr> <tr><td>2</td><td>教師あり学習を用いた分類と回帰</td></tr> <tr><td>3</td><td>教師あり学習を用いた分類と回帰</td></tr> <tr><td>4</td><td>教師あり学習を用いた分類と回帰</td></tr> <tr><td>5</td><td>アンサンブル学習を用いた予測分析</td></tr> <tr><td>6</td><td>アンサンブル学習を用いた予測分析</td></tr> <tr><td>7</td><td>教師なし学習を用いたパターン検出</td></tr> <tr><td>8</td><td>教師なし学習を用いたパターン検出</td></tr> <tr><td>9</td><td>教師なし学習を用いたパターン検出</td></tr> <tr><td>10</td><td>推薦エンジンを作る</td></tr> <tr><td>11</td><td>推薦エンジンを作る</td></tr> <tr><td>12</td><td>論理プログラミング</td></tr> <tr><td>13</td><td>論理プログラミング</td></tr> <tr><td>14</td><td>ヒューリスティック探索</td></tr> <tr><td>15</td><td>ヒューリスティック探索</td></tr> <tr><td>16</td><td>ヒューリスティック探索</td></tr> <tr><td>17</td><td>遺伝的アルゴリズム</td></tr> <tr><td>18</td><td>遺伝的アルゴリズム</td></tr> <tr><td>19</td><td>遺伝的アルゴリズム</td></tr> <tr><td>20</td><td>人工知能を使ったゲーム</td></tr> <tr><td>21</td><td>人工知能を使ったゲーム</td></tr> <tr><td>22</td><td>人工知能を使ったゲーム</td></tr> <tr><td>23</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>24</td><td>自然言語処理</td></tr> <tr><td>25</td><td>自然言語処理</td></tr> <tr><td>26</td><td>自然言語処理</td></tr> <tr><td>27</td><td>連続データの確率的推論</td></tr> <tr><td>28</td><td>連続データの確率的推論</td></tr> <tr><td>29</td><td>連続データの確率的推論</td></tr> <tr><td>30</td><td>音声認識</td></tr> </table>	1	人工知能の概要	2	教師あり学習を用いた分類と回帰	3	教師あり学習を用いた分類と回帰	4	教師あり学習を用いた分類と回帰	5	アンサンブル学習を用いた予測分析	6	アンサンブル学習を用いた予測分析	7	教師なし学習を用いたパターン検出	8	教師なし学習を用いたパターン検出	9	教師なし学習を用いたパターン検出	10	推薦エンジンを作る	11	推薦エンジンを作る	12	論理プログラミング	13	論理プログラミング	14	ヒューリスティック探索	15	ヒューリスティック探索	16	ヒューリスティック探索	17	遺伝的アルゴリズム	18	遺伝的アルゴリズム	19	遺伝的アルゴリズム	20	人工知能を使ったゲーム	21	人工知能を使ったゲーム	22	人工知能を使ったゲーム	23	効果測定	24	自然言語処理	25	自然言語処理	26	自然言語処理	27	連続データの確率的推論	28	連続データの確率的推論	29	連続データの確率的推論	30	音声認識	<table border="1"> <tr><td>31</td><td>音声認識</td></tr> <tr><td>32</td><td>音声認識</td></tr> <tr><td>33</td><td>物体検出と追跡</td></tr> <tr><td>34</td><td>物体検出と追跡</td></tr> <tr><td>35</td><td>物体検出と追跡</td></tr> <tr><td>36</td><td>人工ニューラルネットワーク</td></tr> <tr><td>37</td><td>人工ニューラルネットワーク</td></tr> <tr><td>38</td><td>人工ニューラルネットワーク</td></tr> <tr><td>39</td><td>強化学習</td></tr> <tr><td>40</td><td>強化学習</td></tr> <tr><td>41</td><td>強化学習</td></tr> <tr><td>42</td><td>畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング</td></tr> <tr><td>43</td><td>畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング</td></tr> <tr><td>44</td><td>畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング</td></tr> <tr><td>45</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>46</td><td></td></tr> <tr><td>47</td><td></td></tr> <tr><td>48</td><td></td></tr> <tr><td>49</td><td></td></tr> <tr><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>51</td><td></td></tr> <tr><td>52</td><td></td></tr> <tr><td>53</td><td></td></tr> <tr><td>54</td><td></td></tr> <tr><td>55</td><td></td></tr> <tr><td>56</td><td></td></tr> <tr><td>57</td><td></td></tr> <tr><td>58</td><td></td></tr> <tr><td>59</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td></td></tr> </table>	31	音声認識	32	音声認識	33	物体検出と追跡	34	物体検出と追跡	35	物体検出と追跡	36	人工ニューラルネットワーク	37	人工ニューラルネットワーク	38	人工ニューラルネットワーク	39	強化学習	40	強化学習	41	強化学習	42	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング	43	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング	44	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング	45	効果測定	46		47		48		49		50		51		52		53		54		55		56		57		58		59		60	
1	人工知能の概要																																																																																																																									
2	教師あり学習を用いた分類と回帰																																																																																																																									
3	教師あり学習を用いた分類と回帰																																																																																																																									
4	教師あり学習を用いた分類と回帰																																																																																																																									
5	アンサンブル学習を用いた予測分析																																																																																																																									
6	アンサンブル学習を用いた予測分析																																																																																																																									
7	教師なし学習を用いたパターン検出																																																																																																																									
8	教師なし学習を用いたパターン検出																																																																																																																									
9	教師なし学習を用いたパターン検出																																																																																																																									
10	推薦エンジンを作る																																																																																																																									
11	推薦エンジンを作る																																																																																																																									
12	論理プログラミング																																																																																																																									
13	論理プログラミング																																																																																																																									
14	ヒューリスティック探索																																																																																																																									
15	ヒューリスティック探索																																																																																																																									
16	ヒューリスティック探索																																																																																																																									
17	遺伝的アルゴリズム																																																																																																																									
18	遺伝的アルゴリズム																																																																																																																									
19	遺伝的アルゴリズム																																																																																																																									
20	人工知能を使ったゲーム																																																																																																																									
21	人工知能を使ったゲーム																																																																																																																									
22	人工知能を使ったゲーム																																																																																																																									
23	効果測定																																																																																																																									
24	自然言語処理																																																																																																																									
25	自然言語処理																																																																																																																									
26	自然言語処理																																																																																																																									
27	連続データの確率的推論																																																																																																																									
28	連続データの確率的推論																																																																																																																									
29	連続データの確率的推論																																																																																																																									
30	音声認識																																																																																																																									
31	音声認識																																																																																																																									
32	音声認識																																																																																																																									
33	物体検出と追跡																																																																																																																									
34	物体検出と追跡																																																																																																																									
35	物体検出と追跡																																																																																																																									
36	人工ニューラルネットワーク																																																																																																																									
37	人工ニューラルネットワーク																																																																																																																									
38	人工ニューラルネットワーク																																																																																																																									
39	強化学習																																																																																																																									
40	強化学習																																																																																																																									
41	強化学習																																																																																																																									
42	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング																																																																																																																									
43	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング																																																																																																																									
44	畳み込みニューラルネットワークを用いたディープラーニング																																																																																																																									
45	効果測定																																																																																																																									
46																																																																																																																										
47																																																																																																																										
48																																																																																																																										
49																																																																																																																										
50																																																																																																																										
51																																																																																																																										
52																																																																																																																										
53																																																																																																																										
54																																																																																																																										
55																																																																																																																										
56																																																																																																																										
57																																																																																																																										
58																																																																																																																										
59																																																																																																																										
60																																																																																																																										
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価																																																																																																																									
備考																																																																																																																										

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	IoTシステム基礎			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	2年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	IoTの仕組みを学びPythonおよびIoT関連ライブラリを使用したシステム実装について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	IoTの仕組みの理解およびIoT関連ライブラリを使用したシステムの実装を理解する			
教科書	Pythonで動かして学ぶ！あたらしいIoTの教科書			
実務家教員の紹介	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。			
授業計画	1	IoTの概要	31	実習
	2	IoTの仕組み	32	実習
	3	Raspberry Piのセットアップ	33	IoTとAI
	4	Raspberry Piの初期化	34	IoTとAI
	5	Raspberry Piへのリモートアクセス	35	IoTとAI
	6	Raspberry Piへのリモートアクセス	36	IoTとAI
	7	Raspberry PiでのLED	37	実習
	8	Raspberry PiでのLED	38	実習
	9	実習	39	実習
	10	実習	40	IoTとセキュリティ
	11	実習	41	IoTとセキュリティ
	12	センサーによるデータの取得	42	実習
	13	センサーによるデータの取得	43	実習
	14	実習	44	実習
	15	実習	45	効果測定
	16	実習	46	
	17	クラウドストレージへのデータ保存	47	
	18	クラウドストレージへのデータ保存	48	
	19	実習	49	
	20	実習	50	
	21	実習	51	
	22	効果測定	52	
	23	IoTとデータの可視化	53	
	24	IoTとデータの可視化	54	
	25	実習	55	
	26	実習	56	
	27	実習	57	
	28	IoTとアクチュエーターの遠隔操作	58	
	29	IoTとアクチュエーターの遠隔操作	59	
	30	実習	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	クラウドコンピューティング			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	2年次			
科目区分	必修			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	AWSを利用したクラウドコンピューティングの実装について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習			
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発環境の実装ができる			
教科書	AWS Academyテキスト			
実務家教員の紹介	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。			
授業計画	1	オンプレミス環境の構築 基礎	31	Auto Scaling
	2	オンプレミス環境の構築 基礎	32	負荷分散とScalingの実装
	3	オンプレミス環境の構築 基礎	33	負荷分散とScalingの実装
	4	オンプレミス環境の構築 応用	34	クラウドのセキュリティ
	5	オンプレミス環境の構築 応用	35	IAMロールとポリシー
	6	オンプレミス環境の構築 応用	36	ベストプラクティスとコンプライアンス
	7	オンプレミスとクラウドの比較	37	AWSセキュリティ実装
	8	クラウドコンピューティングの概要	38	AWSセキュリティ実装
	9	クラウドエコノミクス	39	クラウドアーキテクチャの設計
	10	AWSインフラストラクチャと主要なサービス	40	クラウドアーキテクチャの設計
	11	コンピューティングサービス	41	クラウドの請求とサポートサービス
	12	Amazon EC2 コンピューティング実習	42	総合実習
	13	ストレージサービス:EBS	43	総合実習
	14	EBS ストレージ構築・活用実習	44	総合実習
	15	ストレージサービス:Amazon S3	45	効果測定
	16	Amazon S3 ストレージ構築・活用実習	46	
	17	ストレージサービス: EFS・Glacier概要	47	
	18	AWS VPC概要	48	
	19	AWS セキュリティグループ	49	
	20	VPC+Webサーバ構築実習	50	
	21	AWS Cloud Front概要	51	
	22	Amazon RDS	52	
	23	RDS環境構築実習	53	
	24	Amazon DynamoDB	54	
	25	DynamoDB環境構築実習	55	
	26	Redshift/Aurora 概要	56	
	27	高可用性DB 構築実習	57	
	28	高可用性DB 構築実習	58	
	29	Elastic Load Balancing (ELB)	59	
	30	Amazon CloudWatch	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
備考				

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容																																																																																																																									
授業科目	クラウドネイティブ開発																																																																																																																									
実務家教員授業	○																																																																																																																									
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース																																																																																																																									
履修年次	2年次																																																																																																																									
科目区分	選択																																																																																																																									
授業方法	実習																																																																																																																									
授業時間	90単位時間																																																																																																																									
授業コマ数	45コマ																																																																																																																									
授業概要	AWS Lambdaを使用したクラウドネイティブシステムの基礎を学ぶ																																																																																																																									
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習																																																																																																																									
達成目標	AWS Lambdaを通じてクラウドネイティブシステム構築の基礎を理解する																																																																																																																									
教科書	AWS Lambda実践ガイド																																																																																																																									
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的な教育をおこなう。																																																																																																																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>Lambda で実現するサーバーレスシステム</td></tr> <tr><td>2</td><td>サンプル用 Lambda 関数の仕様</td></tr> <tr><td>3</td><td>Lambda の利用に必要なアクセス権</td></tr> <tr><td>4</td><td>Lambda 関数の作成</td></tr> <tr><td>5</td><td>Lambda 関数の実行</td></tr> <tr><td>6</td><td>実習</td></tr> <tr><td>7</td><td>実習</td></tr> <tr><td>8</td><td>実習</td></tr> <tr><td>9</td><td>イベントの発生とLambda 関数</td></tr> <tr><td>10</td><td>Lambda コンテナ</td></tr> <tr><td>11</td><td>Lambda 関数の実行</td></tr> <tr><td>12</td><td>Lambda 関数を呼び出すイベントソース</td></tr> <tr><td>13</td><td>定期的に Lambda 関数を実行する例</td></tr> <tr><td>14</td><td>実習</td></tr> <tr><td>15</td><td>実習</td></tr> <tr><td>16</td><td>実習</td></tr> <tr><td>17</td><td>S3 のイベント事例</td></tr> <tr><td>18</td><td>S3 バケットの作成</td></tr> <tr><td>19</td><td>バケットに対するイベント</td></tr> <tr><td>20</td><td>ライブラリ込みの Lambda 関数の作成</td></tr> <tr><td>21</td><td>実習</td></tr> <tr><td>22</td><td>実習</td></tr> <tr><td>23</td><td>実習</td></tr> <tr><td>24</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>25</td><td>API Gateway のイベント事例</td></tr> <tr><td>26</td><td>API Gateway と Lambda 関数の組合せ</td></tr> <tr><td>27</td><td>API Gateway から実行される Lambda 関数</td></tr> <tr><td>28</td><td>DynamoDB の基本</td></tr> <tr><td>29</td><td>Lambda 関数でのDynamoDBアクセス</td></tr> <tr><td>30</td><td>署名付きURLの発行</td></tr> </table>	1	Lambda で実現するサーバーレスシステム	2	サンプル用 Lambda 関数の仕様	3	Lambda の利用に必要なアクセス権	4	Lambda 関数の作成	5	Lambda 関数の実行	6	実習	7	実習	8	実習	9	イベントの発生とLambda 関数	10	Lambda コンテナ	11	Lambda 関数の実行	12	Lambda 関数を呼び出すイベントソース	13	定期的に Lambda 関数を実行する例	14	実習	15	実習	16	実習	17	S3 のイベント事例	18	S3 バケットの作成	19	バケットに対するイベント	20	ライブラリ込みの Lambda 関数の作成	21	実習	22	実習	23	実習	24	効果測定	25	API Gateway のイベント事例	26	API Gateway と Lambda 関数の組合せ	27	API Gateway から実行される Lambda 関数	28	DynamoDB の基本	29	Lambda 関数でのDynamoDBアクセス	30	署名付きURLの発行	<table border="1"> <tr><td>31</td><td>メールの送信</td></tr> <tr><td>32</td><td>クロスオリジンの注意点</td></tr> <tr><td>33</td><td>実習</td></tr> <tr><td>34</td><td>実習</td></tr> <tr><td>35</td><td>実習</td></tr> <tr><td>36</td><td>実習</td></tr> <tr><td>37</td><td>SQS と SNS トピックのイベント事例</td></tr> <tr><td>38</td><td>DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理</td></tr> <tr><td>39</td><td>S3 バケットとSQS の構成</td></tr> <tr><td>40</td><td>SQS からメッセージを取り出してメール送信</td></tr> <tr><td>41</td><td>バウンスメールの処理</td></tr> <tr><td>42</td><td>総合実習</td></tr> <tr><td>43</td><td>総合実習</td></tr> <tr><td>44</td><td>総合実習</td></tr> <tr><td>45</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>46</td><td></td></tr> <tr><td>47</td><td></td></tr> <tr><td>48</td><td></td></tr> <tr><td>49</td><td></td></tr> <tr><td>50</td><td></td></tr> <tr><td>51</td><td></td></tr> <tr><td>52</td><td></td></tr> <tr><td>53</td><td></td></tr> <tr><td>54</td><td></td></tr> <tr><td>55</td><td></td></tr> <tr><td>56</td><td></td></tr> <tr><td>57</td><td></td></tr> <tr><td>58</td><td></td></tr> <tr><td>59</td><td></td></tr> <tr><td>60</td><td></td></tr> </table>	31	メールの送信	32	クロスオリジンの注意点	33	実習	34	実習	35	実習	36	実習	37	SQS と SNS トピックのイベント事例	38	DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理	39	S3 バケットとSQS の構成	40	SQS からメッセージを取り出してメール送信	41	バウンスメールの処理	42	総合実習	43	総合実習	44	総合実習	45	効果測定	46		47		48		49		50		51		52		53		54		55		56		57		58		59		60	
1	Lambda で実現するサーバーレスシステム																																																																																																																									
2	サンプル用 Lambda 関数の仕様																																																																																																																									
3	Lambda の利用に必要なアクセス権																																																																																																																									
4	Lambda 関数の作成																																																																																																																									
5	Lambda 関数の実行																																																																																																																									
6	実習																																																																																																																									
7	実習																																																																																																																									
8	実習																																																																																																																									
9	イベントの発生とLambda 関数																																																																																																																									
10	Lambda コンテナ																																																																																																																									
11	Lambda 関数の実行																																																																																																																									
12	Lambda 関数を呼び出すイベントソース																																																																																																																									
13	定期的に Lambda 関数を実行する例																																																																																																																									
14	実習																																																																																																																									
15	実習																																																																																																																									
16	実習																																																																																																																									
17	S3 のイベント事例																																																																																																																									
18	S3 バケットの作成																																																																																																																									
19	バケットに対するイベント																																																																																																																									
20	ライブラリ込みの Lambda 関数の作成																																																																																																																									
21	実習																																																																																																																									
22	実習																																																																																																																									
23	実習																																																																																																																									
24	効果測定																																																																																																																									
25	API Gateway のイベント事例																																																																																																																									
26	API Gateway と Lambda 関数の組合せ																																																																																																																									
27	API Gateway から実行される Lambda 関数																																																																																																																									
28	DynamoDB の基本																																																																																																																									
29	Lambda 関数でのDynamoDBアクセス																																																																																																																									
30	署名付きURLの発行																																																																																																																									
31	メールの送信																																																																																																																									
32	クロスオリジンの注意点																																																																																																																									
33	実習																																																																																																																									
34	実習																																																																																																																									
35	実習																																																																																																																									
36	実習																																																																																																																									
37	SQS と SNS トピックのイベント事例																																																																																																																									
38	DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理																																																																																																																									
39	S3 バケットとSQS の構成																																																																																																																									
40	SQS からメッセージを取り出してメール送信																																																																																																																									
41	バウンスメールの処理																																																																																																																									
42	総合実習																																																																																																																									
43	総合実習																																																																																																																									
44	総合実習																																																																																																																									
45	効果測定																																																																																																																									
46																																																																																																																										
47																																																																																																																										
48																																																																																																																										
49																																																																																																																										
50																																																																																																																										
51																																																																																																																										
52																																																																																																																										
53																																																																																																																										
54																																																																																																																										
55																																																																																																																										
56																																																																																																																										
57																																																																																																																										
58																																																																																																																										
59																																																																																																																										
60																																																																																																																										
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価																																																																																																																									
備考																																																																																																																										

授業概要 (シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発 I			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	2年次			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	システム開発における企画立案、ユースケース図の作成について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による実習			
達成目標	企画立案をおこなってユースケース図を完成させる			
教科書	なし			
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的な教育をおこなう。			
授業計画	1	卒業研究とは	31	ユースケースモデリング分析
	2	業界研究	32	ユースケースモデリング分析
	3	業界研究	33	ユースケースモデリング分析
	4	業界研究	34	ユースケースモデリング分析
	5	企画立案	35	ユースケースモデリング分析
	6	企画立案	36	ユースケースモデリング分析
	7	企画立案	37	ユースケースモデリング分析
	8	企画立案	38	ユースケースモデリング分析
	9	企画立案	39	要求レビューの理論
	10	企画立案	40	要求レビューの実践
	11	企画書の作成	41	要求レビュー
	12	企画書の作成	42	要求レビュー
	13	企画書の作成	43	要求レビュー
	14	企画書の作成	44	要求レビュー
	15	中間発表準備	45	要求レビュー
	16	中間発表準備	46	
	17	中間発表準備	47	
	18	中間発表準備	48	
	19	ドメインモデリングの理論	49	
	20	ドメインモデリングの実践	50	
	21	ドメインモデリング分析	51	
	22	ドメインモデリング分析	52	
	23	ユースケースモデリングの理論	53	
	24	ユースケースモデリングの実践	54	
	25	ユースケースモデリング分析	55	
	26	ユースケースモデリング分析	56	
	27	ユースケースモデリング分析	57	
	28	ユースケースモデリング分析	58	
	29	ユースケースモデリング分析	59	
	30	ユースケースモデリング分析	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発II			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	2年次			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	90単位時間			
授業コマ数	45コマ			
授業概要	システム開発におけるロバストネス図の作成とシーケンス図の作成について学ぶ			
授業の進め方	有識者の指導による実習			
達成目標	ロバストネス図を完成させる			
教科書	なし			
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的な教育をおこなう。			
授業計画	1	中間発表準備	31	シーケンス図作成
	2	中間発表準備	32	シーケンス図作成
	3	中間発表準備	33	シーケンス図作成
	4	中間発表準備	34	シーケンス図作成
	5	中間発表準備	35	シーケンス図作成
	6	ロバストネス分析の理論	36	シーケンス図作成
	7	ロバストネス分析の実践	37	シーケンス図作成
	8	ロバストネス分析	38	シーケンス図作成
	9	ロバストネス分析	39	シーケンス図作成
	10	ロバストネス分析	40	シーケンス図作成
	11	ロバストネス分析	41	シーケンス図作成
	12	ロバストネス分析	42	シーケンス図作成
	13	ロバストネス分析	43	シーケンス図作成
	14	ロバストネス分析	44	シーケンス図作成
	15	ロバストネス分析	45	シーケンス図作成
	16	予備設計レビューの理論	46	
	17	予備設計レビューの実践	47	
	18	予備設計レビュー	48	
	19	予備設計レビュー	49	
	20	予備設計レビュー	50	
	21	予備設計レビュー	51	
	22	予備設計レビュー	52	
	23	予備設計レビュー	53	
	24	予備設計レビュー	54	
	25	予備設計レビュー	55	
	26	テクニカルアーキテクチャの理論	56	
	27	テクニカルアーキテクチャの実践	57	
	28	シーケンス図作成の理論	58	
	29	シーケンス図作成の実践	59	
	30	シーケンス図作成	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発Ⅲ	
実務家教員授業	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発におけるシーケンス図の作成とソースコードの作成について学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による実習	
達成目標	シーケンス図を完成させる	
教科書	なし	
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的な教育をおこなう。	
授業計画	1 シーケンス図作成	31 プログラミング(開発)
	2 シーケンス図作成	32 プログラミング(開発)
	3 シーケンス図作成	33 プログラミング(開発)
	4 シーケンス図作成	34 プログラミング(開発)
	5 シーケンス図作成	35 プログラミング(開発)
	6 シーケンス図作成	36 プログラミング(開発)
	7 シーケンス図作成	37 プログラミング(開発)
	8 シーケンス図作成	38 プログラミング(開発)
	9 シーケンス図作成	39 プログラミング(開発)
	10 シーケンス図作成	40 プログラミング(開発)
	11 シーケンス図作成	41 プログラミング(開発)
	12 シーケンス図作成	42 プログラミング(開発)
	13 シーケンス図作成	43 プログラミング(開発)
	14 シーケンス図作成	44 プログラミング(開発)
	15 シーケンス図作成	45 プログラミング(開発)
	16 シーケンス図作成	46
	17 詳細設計レビューの理論	47
	18 詳細設計レビューの実践	48
	19 詳細設計レビュー	49
	20 詳細設計レビュー	50
	21 詳細設計レビュー	51
	22 詳細設計レビュー	52
	23 詳細設計レビュー	53
	24 詳細設計レビュー	54
	25 詳細設計レビュー	55
	26 詳細設計レビュー	56
	27 詳細設計レビュー	57
	28 詳細設計レビュー	58
	29 詳細設計からコードへ	59
	30 実装の実践	60
成績評価方法 (試験実施方法)	課題制作100% 有識者による講評で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業研究開発IV			
実務家教員授業	○			
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース			
履修年次	2年次			
科目区分	選択			
授業方法	実習			
授業時間	120単位時間			
授業コマ数	60コマ			
授業概要	システム開発におけるソースコードの作成を進める			
授業の進め方	有識者の指導による実習			
達成目標	ソースコードの作成（最終目標の50%まで）			
教科書	なし			
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的な教育をおこなう。			
授業計画	1	プログラミング(開発)	31	プログラミング(開発)
	2	プログラミング(開発)	32	プログラミング(開発)
	3	プログラミング(開発)	33	プログラミング(開発)
	4	プログラミング(開発)	34	プログラミング(開発)
	5	プログラミング(開発)	35	プログラミング(開発)
	6	プログラミング(開発)	36	プログラミング(開発)
	7	プログラミング(開発)	37	プログラミング(開発)
	8	プログラミング(開発)	38	プログラミング(開発)
	9	プログラミング(開発)	39	プログラミング(開発)
	10	プログラミング(開発)	40	プログラミング(開発)
	11	プログラミング(開発)	41	プログラミング(開発)
	12	プログラミング(開発)	42	プログラミング(開発)
	13	プログラミング(開発)	43	プログラミング(開発)
	14	プログラミング(開発)	44	プログラミング(開発)
	15	プログラミング(開発)	45	プログラミング(開発)
	16	プログラミング(開発)	46	プログラミング(開発)
	17	プログラミング(開発)	47	プログラミング(開発)
	18	プログラミング(開発)	48	プログラミング(開発)
	19	プログラミング(開発)	49	プログラミング(開発)
	20	プログラミング(開発)	50	プログラミング(開発)
	21	プログラミング(開発)	51	プログラミング(開発)
	22	プログラミング(開発)	52	プログラミング(開発)
	23	プログラミング(開発)	53	プログラミング(開発)
	24	プログラミング(開発)	54	プログラミング(開発)
	25	プログラミング(開発)	55	プログラミング(開発)
	26	プログラミング(開発)	56	プログラミング(開発)
	27	プログラミング(開発)	57	プログラミング(開発)
	28	プログラミング(開発)	58	プログラミング(開発)
	29	プログラミング(開発)	59	プログラミング(開発)
	30	プログラミング(開発)	60	プログラミング(開発)
成績評価方法 (試験実施方法)	課題制作100% 有識者による講評で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究開発V	
実務家教員授業	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	システム開発におけるソースコードを完成させてテストを実践する	
授業の進め方	有識者の指導による実習	
達成目標	ソースコードの完成およびテストの実践	
教科書	なし	
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的な教育をおこなう。	
授業計画	1 卒業研究発表会(校内大会)準備	31 設計駆動テストの理論
	2 卒業研究発表会(校内大会)準備	32 設計駆動テストの実践
	3 卒業研究発表会(校内大会)準備	33 テストの実践
	4 卒業研究発表会(校内大会)準備	34 テストの実践
	5 卒業研究発表会(校内大会)準備	35 テストの実践
	6 プログラミング(開発)	36 テストの実践
	7 プログラミング(開発)	37 テストの実践
	8 プログラミング(開発)	38 テストの実践
	9 プログラミング(開発)	39 テストの実践
	10 プログラミング(開発)	40 テストの実践
	11 プログラミング(開発)	41 テストの実践
	12 プログラミング(開発)	42 テストの実践
	13 プログラミング(開発)	43 テストの実践
	14 プログラミング(開発)	44 テストの実践
	15 プログラミング(開発)	45 テストの実践
	16 プログラミング(開発)	46 テストの実践
	17 プログラミング(開発)	47 テストの実践
	18 プログラミング(開発)	48 テストの実践
	19 プログラミング(開発)	49 テストの実践
	20 プログラミング(開発)	50 テストの実践
	21 プログラミング(開発)	51 テストの実践
	22 プログラミング(開発)	52 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	23 プログラミング(開発)	53 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	24 プログラミング(開発)	54 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	25 プログラミング(開発)	55 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	26 プログラミング(開発)	56 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	27 プログラミング(開発)	57 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	28 プログラミング(開発)	58 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	29 プログラミング(開発)	59 プログラミングコンテスト(首都圏大会)準備
	30 プログラミング(開発)	60 卒業研究振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	課題制作100% 有識者による講評で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成（1）① 11 表、画像、図形を使った文書の作成（1）② 12 表、画像、図形を使った文書の作成（1）③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成（1）④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成（1）⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成（2）① 8 表、画像、図形を使った文書の作成（2）② 9 表、画像、図形を使った文書の作成（2）③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	パソコン実習Ⅲ																														
実務家教員																															
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース																														
履修年次	2年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）																														
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習																														
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																														
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>文書の作成と管理①</td></tr> <tr><td>2</td><td>文書の作成と管理②</td></tr> <tr><td>3</td><td>文書の作成と管理③</td></tr> <tr><td>4</td><td>数式・関数を活用した集計表の作成①</td></tr> <tr><td>5</td><td>数式・関数を活用した集計表の作成②</td></tr> <tr><td>6</td><td>数式・関数を活用した集計表の作成③</td></tr> <tr><td>7</td><td>ワークシート間の集計①</td></tr> <tr><td>8</td><td>ワークシート間の集計②</td></tr> <tr><td>9</td><td>ワークシート間の集計③</td></tr> <tr><td>10</td><td>グラフの基本①</td></tr> <tr><td>11</td><td>グラフの基本②</td></tr> <tr><td>12</td><td>グラフの基本③</td></tr> <tr><td>13</td><td>目的に応じたグラフの作成と編集①</td></tr> <tr><td>14</td><td>目的に応じたグラフの作成と編集②</td></tr> <tr><td>15</td><td>目的に応じたグラフの作成と編集③</td></tr> </table>	1	文書の作成と管理①	2	文書の作成と管理②	3	文書の作成と管理③	4	数式・関数を活用した集計表の作成①	5	数式・関数を活用した集計表の作成②	6	数式・関数を活用した集計表の作成③	7	ワークシート間の集計①	8	ワークシート間の集計②	9	ワークシート間の集計③	10	グラフの基本①	11	グラフの基本②	12	グラフの基本③	13	目的に応じたグラフの作成と編集①	14	目的に応じたグラフの作成と編集②	15	目的に応じたグラフの作成と編集③
1	文書の作成と管理①																														
2	文書の作成と管理②																														
3	文書の作成と管理③																														
4	数式・関数を活用した集計表の作成①																														
5	数式・関数を活用した集計表の作成②																														
6	数式・関数を活用した集計表の作成③																														
7	ワークシート間の集計①																														
8	ワークシート間の集計②																														
9	ワークシート間の集計③																														
10	グラフの基本①																														
11	グラフの基本②																														
12	グラフの基本③																														
13	目的に応じたグラフの作成と編集①																														
14	目的に応じたグラフの作成と編集②																														
15	目的に応じたグラフの作成と編集③																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅳ
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化① 14 マクロによる作業の自動化② 15 マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	○
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	マナー教室の講師であり、各種イベントや式典の司会、VTRのナレーション等も務める教員が授業を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	用語知識①
	2	用語知識②
	3	用語知識③
	4	用語知識④
	6	考え方①
	7	考え方②
	8	考え方③
	9	考え方④
	10	発表①
	11	発表②
	12	発表③
	13	個人研究①
	14	個人研究②
	15	個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	文化リテラシーⅢ
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	日本文化を理解する(知る)
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	他国の文化や簡単な言語の習得
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 自己紹介 2 時事研究① 3 時事研究② 4 時事研究③ 5 時事研究④ 6 グループディスカッション① 7 グループディスカッション② 8 グループディスカッション③ 9 グループディスカッション④ 10 発表・ディベート① 11 発表・ディベート② 12 発表・ディベート③ 13 発表・ディベート④ 14 発表・ディベート⑤ 15 発表・ディベート⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務職ビジネスマナー
実務家教員	○
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業）
授業時間	90時間（3単位）
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	マナー教室の講師であり、各種イベントや式典の司会、VTRのナレーション等も務める教員が授業を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 事務職の1日の流れ 2 電話応対応用1 3 電話応対応用2 4 電話応対応用3 5 電話応対応用4 6 電話応対応用5 7 電話応対応用6 8 電話応対応用7 9 電話応対応用8 10 電話応対応用9 11 電話応対応用10 12 電話応対応用11 13 電話応対応用12 14 電話応対応用13 15 電話応対応用14 16 電話応対応用15 17 接遇の流れ1 18 接遇の流れ2 19 接遇の流れ3 20 接遇の流れ4 21 接遇の流れ5 22 接遇の流れ6 23 接遇の流れ7 24 接遇の流れ8 25 接遇の流れ9 26 演習（ロールプレイング）1 27 演習（ロールプレイング）2 28 演習（ロールプレイング）3 29 演習（ロールプレイング）4 30 演習（ロールプレイング）5 31 演習（ロールプレイング）6 32 演習（ロールプレイング）7 33 演習（ロールプレイング）8 34 演習（ロールプレイング）9 35 演習（ロールプレイング）10 36 演習（ロールプレイング）11 37 演習（ロールプレイング）12 38 演習（ロールプレイング）13 39 演習（ロールプレイング）14 40 演習（ロールプレイング）15 41 演習（ロールプレイング）16 42 演習（ロールプレイング）17 43 演習（ロールプレイング）18 44 効果測定① 45 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務 I
実務家教員	○
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務会から講師を招いての授業科目）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業、会計事務所から講師を招き講義を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務① 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務② 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③ 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）① 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）② 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③ 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）① 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）② 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務 I
実務家教員	○
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義（実務会から講師を招いての授業科目）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	企業、会計事務所から講師を招き講義を行う
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた1 5 年末調整のしかた2 6 年末調整のしかた3 7 年末調整のしかた4 8 年末調整のしかた5 9 年末調整のしかた6 10 年末調整のしかた7 11 年末調整のしかた8 12 年末調整のしかた9 13 法定調書の流れ1 14 法定調書の流れ2 15 法定調書の流れ3 16 法定調書の流れ4 17 法定調書の流れ5 18 法定調書の流れ6 19 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出1 20 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出2 21 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出3 22 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出4 23 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出5 24 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出6 25 労働保険の概要及び会計処理1 26 労働保険の概要及び会計処理2 27 労働保険の概要及び会計処理3 28 労働保険の概要及び会計処理4 29 労働保険の概要及び会計処理5 30 労働保険の概要及び会計処理6
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財務会計	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	120時間（4単位）	
授業コマ数	60コマ（1コマ90分）	
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤	31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩ 46 試算表の作成1 47 試算表の作成2 48 試算表の作成3 49 試算表の作成4 50 試算表の作成5 51 損益計算書1 52 損益計算書2 53 損益計算書3 54 損益計算書4 55 損益計算書5 56 貸借対照表作成1 57 貸借対照表作成2 58 貸借対照表作成3 59 貸借対照表作成4 60 貸借対照表作成5
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	60時間（2単位）	
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）	
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	顧客満足①
	2	顧客満足②
	3	マーケティングの必要性1
	4	マーケティングの必要性2
	5	マーケティングの必要性3
	6	マーケティングの必要性4
	7	マーケティングの必要性5
	8	情報収集と分析1
	9	情報収集と分析2
	10	情報収集と分析3
	11	流通チャネル1
	12	流通チャネル2
	13	流通チャネル3
	14	流通チャネル4
	15	プロモーション1
	16	プロモーション2
	17	プロモーション3
	18	プロモーション4
	19	プロモーション5
	20	プロモーション6
	21	財務知識①
	22	財務知識②
	23	財務知識③
	24	財務知識④
	25	事例研究①
	26	グループディスカッション1
	27	事例研究②
	28	グループディスカッション2
	29	事例研究③
	30	グループディスカッション3
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員	○	
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業）	
授業時間	90時間（3単位）	
授業コマ数	45コマ（1コマ90分）	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記	マナー教室の講師であり、各種イベントや式典の司会、VTRのナレーション等も務める教員が授業を行う	
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④	31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	プレゼンテーション																														
実務家教員																															
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース																														
履修年次	2年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）																														
授業概要	企画から発表までの一連の流れ																														
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る																														
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>プレゼンテーションとは何か</td></tr> <tr><td>2</td><td>プレゼンテーションの種類</td></tr> <tr><td>3</td><td>企画①</td></tr> <tr><td>4</td><td>企画②</td></tr> <tr><td>5</td><td>企画③</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報収集①</td></tr> <tr><td>7</td><td>情報収集②</td></tr> <tr><td>8</td><td>情報収集③</td></tr> <tr><td>9</td><td>シナリオ作成①</td></tr> <tr><td>10</td><td>シナリオ作成②</td></tr> <tr><td>11</td><td>シナリオ作成③</td></tr> <tr><td>12</td><td>コンテンツ作成①</td></tr> <tr><td>13</td><td>コンテンツ作成②</td></tr> <tr><td>14</td><td>話し方</td></tr> <tr><td>15</td><td>発表</td></tr> </table>	1	プレゼンテーションとは何か	2	プレゼンテーションの種類	3	企画①	4	企画②	5	企画③	6	情報収集①	7	情報収集②	8	情報収集③	9	シナリオ作成①	10	シナリオ作成②	11	シナリオ作成③	12	コンテンツ作成①	13	コンテンツ作成②	14	話し方	15	発表
1	プレゼンテーションとは何か																														
2	プレゼンテーションの種類																														
3	企画①																														
4	企画②																														
5	企画③																														
6	情報収集①																														
7	情報収集②																														
8	情報収集③																														
9	シナリオ作成①																														
10	シナリオ作成②																														
11	シナリオ作成③																														
12	コンテンツ作成①																														
13	コンテンツ作成②																														
14	話し方																														
15	発表																														
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究	
実務家教員		
学部・学科	経理本科2年制学科 情報技術コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択	
授業方法	実習	
授業時間	180時間（6単位）	
授業コマ数	90コマ（1コマ90分）	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 業界分析① 2 業界分析② 3 業界分析③ 4 業界分析④ 5 情報収集① 6 情報収集② 7 情報収集③ 8 情報収集④ 9 情報収集⑤ 10 情報収集⑥ 11 情報収集⑦ 12 情報収集⑧ 13 店舗分析① 14 店舗分析② 15 店舗分析③ 16 店舗分析④ 17 店舗分析⑤ 18 店舗分析⑥ 19 店舗分析⑦ 20 店舗分析⑧ 21 店舗見学① 22 店舗見学② 23 店舗見学③ 24 店舗見学④ 25 店舗見学⑤ 26 店舗見学⑥ 27 店舗見学⑦ 28 店舗見学⑧ 29 課題抽出① 30 課題抽出② 31 課題抽出③ 32 課題抽出④ 33 課題抽出⑤ 34 課題抽出⑥ 35 課題抽出⑦ 36 課題抽出⑧ 37 仮説① 38 仮説② 39 仮説③ 40 仮説④ 41 仮説⑤ 42 仮説⑥ 43 仮説⑦ 44 仮説⑧ 45 調査・検証①	46 調査・検証② 47 調査・検証③ 48 調査・検証④ 49 調査・検証⑤ 50 調査・検証⑥ 51 調査・検証⑦ 52 調査・検証⑧ 53 調査・検証⑨ 54 調査・検証⑩ 55 企画案作成① 56 企画案作成② 57 企画案作成③ 58 企画案作成④ 59 企画案作成⑤ 60 企画案作成⑥ 61 企画案作成⑦ 62 企画案作成⑧ 63 企画案作成⑨ 64 企画案作成⑩ 65 中間発表① 66 中間発表② 67 中間発表③ 68 中間発表④ 69 中間発表⑤ 70 再検証① 71 再検証② 72 再検証③ 73 再検証④ 74 再検証⑤ 75 再検証⑥ 76 再検証⑦ 77 再検証⑧ 78 再検証⑨ 79 再検証⑩ 80 最終発表① 81 最終発表② 82 最終発表③ 83 最終発表④ 84 最終発表⑤ 85 代表によるコンテストの実施① 86 代表によるコンテストの実施② 87 代表によるコンテストの実施③ 88 代表によるコンテストの実施④ 89 代表によるコンテストの実施⑤ 90 代表によるコンテストの実施⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%。授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		